

令和元年度
決算認定審査報告

令和元年度相馬市一般会計・特別会計歳入歳出決算一覧 (単位：円)

会 計	歳 入	
	予算現額	収入済額 (A)
一般会計	27,875,466,586	24,956,933,529
国民健康保険特別会計	3,875,934,000	3,841,525,093
後期高齢者医療特別会計	417,126,000	408,340,448
介護保険特別会計	3,819,167,000	3,867,186,320
公共下水道事業特別会計	1,270,895,000	1,207,673,506
農業集落排水事業特別会計	35,663,000	35,281,663
光陽地区造成事業特別会計	1,169,761,000	1,168,287,264
計	38,464,012,586	35,485,227,823

会 計	歳 出	
	予算現額	支出済額 (B)
一般会計	27,875,466,586	23,436,695,871
国民健康保険特別会計	3,875,934,000	3,798,979,418
後期高齢者医療特別会計	417,126,000	406,064,644
介護保険特別会計	3,819,167,000	3,629,758,065
公共下水道事業特別会計	1,270,895,000	1,198,008,155
農業集落排水事業特別会計	35,663,000	34,016,612
光陽地区造成事業特別会計	1,169,761,000	1,158,171,230
計	38,464,012,586	33,661,693,995

会 計	歳入歳出差引額 (C) ※ (A) - (B)	左のうち翌年度 繰越財源 (D)	実質収支 ※ (C) - (D)
一般会計	1,520,237,658	818,933,000	701,304,658
国民健康保険特別会計	42,545,675	0	42,545,675
後期高齢者医療特別会計	2,275,804	0	2,275,804
介護保険特別会計	237,428,255	0	237,428,255
公共下水道事業特別会計	9,665,351	165,000	9,500,351
農業集落排水事業特別会計	1,265,051	0	1,265,051
光陽地区造成事業特別会計	10,116,034	3,700,000	6,416,034
計	1,823,533,828	822,798,000	1,000,735,828

市税の収納状況

市税全体の収入済額は、53億3,775万4,658円であり、前年度比で、約7,800万円の増収。
不納欠損額※1は、1,675万4,540円。対象者は220人であり、前年度比で約700万円の増額。
収入未済額※2は、2億6,967万3,167円。対象者は3,812人であり、前年度比で約1,300万円の減額となっている。

用語解説

※1 不納欠損額・・・市税などの収入について、何らかの理由で徴収できず、今後も徴収の見込みがないため、それを損失として処分した金額のこと。
※2 収入未済額・・・市税などの収入について、該当年度中に納付されなかった金額のこと。次年度以降に継続して徴収に努めている。

保育園の利用者負担金の状況

保育園の利用者負担金は、収入済額が9,064万1,980円。
収入未済額180万500円については、現年度分が14件、過年度分が70件となっている。

相馬港湾施設
建設促進協議会補助金



港湾管理費、負担金、補助及び交付金235万500円のうち、150万円は相馬港湾施設建設促進協議会補助金で、相馬市と新地町でそれぞれ150万円を支出し、相馬港でのコンテナ利用の促進を図るため補助するもの。

議員

昨年度のコンテナ利用実績について問う。

市

令和元年度のコンテナ輸送件数は18回、20フィートのコンテナでは40本である。

コンテナの輸送費用(一例)は、1本あたり陸送で約24万円、海送で約37万円となっている。
現状、陸送のほうが安く輸送できるため、この補助金を活用しながら相馬港湾の利用促進に繋げていきたいと考えている。

議員

市民税、固定資産税における不納欠損の主な理由について問う。

市

市税の不納欠損処分については、死亡の3分類で行っている。
また、固定資産税については相続人がなく、財産にしても税金に充当できない場合、不納欠損としている。

議員

今後の対策と未納人数について問う。

市

未納者に対しては、各種手当の支給を窓口払いとし、その際に徴収している。
約180万円の収入未済額に対して、今年度になってから16万7,280円が納付されている状況である。

また、未納者の実人数は10人となっている。

